

かまくら LIBRARY 図書館 だより  
SINCE 1911  
No.94

● 鎌倉市図書館のホームページ

蔵書検索、所蔵資料の予約、ご自分で借りているものの確認などができます。

休館日や開館時間の確認にもご利用ください。

パソコンから <http://lib.city.kamakura.kanagawa.jp>

携帯電話から <http://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/i>

No.94 目次

- ・各図書館にインターネットコーナー開設
- ・「文字・活字文化の日」記念講演－《名探偵シャーロック・ホームズの魅力の世界》講演内容紹介
- ・16ミリ映写機の操作講習会を開催します
- ・「図書リサイクル」の方法がわかります

腰越・深沢・大船・玉縄図書館に  
インターネットコーナーができました!!

今秋、ついに市内各図書館にインターネットが利用できるコーナーができました。

調べものに！ 情報収集に！ どうぞご利用ください。

例えば、鎌倉市以外の図書館の蔵書の検索／新刊情報／ニュースを見ることができますよ。調べものの最初のとがかり等にもインターネットは便利です。

【利用にあたってのお願い】

有料サイトへの接続・メール・ダウンロード等のご遠慮いただいております。

利用の詳細はご利用になる図書館へお尋ねください。



講演会《名探偵シャーロック・ホームズの魅力の世界》  
を開催しました。講演内容をご紹介します。

読書期間中の10月29日に、中央図書館で「文字・活字文化の日」を記念した講演会を開催しました。講師にお招きした田中喜芳氏はシャーロック・ホームズの扮装で登場し、「ホームズ物語」の魅力や、1冊の本との出会いが自分の人生をとて豊かなものにしたことなどをユーモアたっぷりに語り、参加された方々にもたいへん好評でした。講演内容のダイジェストをご紹介します。



## 名探偵シャーロック・ホームズの魅力の世界



米・ニューポート国際大学  
大学院客員教授  
人間行動学博士  
田中喜芳

ホームズ・シリーズを連載した  
『ストランド・マガジン』（田中喜芳氏 蔵）

### シャーロッキアンとは

皆さんこんにちは。今日は、数ある本の中で、ある1冊の本と出会ったことが、その後の私の人生にどのような大きな影響を与えたか、同時に、いかに多くの素晴らしい出会いをもたらしてくれたかをお話したいと思います。その、私が出会った本とは、英国の作家コナン・ドイルが書いた『シャーロック・ホームズの冒険』です。

皆さんは「シャーロッキアン」という言葉を聞いたことがありますか。「シャーロッキアン」というのは「シャーロック・ホームズの熱烈なファン、または研究者」をさしている言葉です。私もその一人ですが、シャーロッキアンたちは、よく「ホームズ物語」は『聖書』に次ぐベストセラーだなどと申します。もちろん、その証明はできません。

ホームズ・シリーズは、現在、日本語をはじめとして世界で180余の言語や速記体に翻訳され愛読されています。最初の作品『緋色の習作』が発表されてから119年。今日なお、世界中の読者に支持され続けているのですから、まさに「聖書に次ぐベストセラー」と言っても過言ではないでしょう。

### 「ホームズ物語」との出会い

いま「ホームズ物語」と申し上げましたが、実はそのような1冊の本がある訳ではありません。名探偵シャーロック・ホームズと相棒ワトスン医師（博士は間違い）を主人公とする、長編4、短編56、合計60編のシリーズを総称してシャーロッキアンたちは便宜上「ホームズ物語」と呼んでいます。

私をはじめ「ホームズ物語」の作品の一つ『青いガーネット』を読んだのは高校2年生の冬でした。決して本を読まなかったのではなく、漱石とか鴎外といった日本の小説ばかりを読んでいたのです。

当時、私が通っていた高校の英語教師が自分でタイプをした『青いガーネット』を教科書代わりに使

ったのです。この作品は、ヴィクトリア朝ロンドンのクリスマス風景が美しく描かれ、料理用のガチョウの胃袋から、ホテルの部屋から盗まれた「青いガーネット」という宝石が見つかるという話です。

教科書として読んだためか、最初はそれほど面白いとは思っていませんでしたが、私は、期末試験対策用に書店へ訳本を買いに行きました。そのとき買ったのが延原謙訳による新潮文庫の『シャーロック・ホームズ(S・H)の冒険』でした。この本のおかげで、期末試験も無事に終わり冬休みに入りました。暇だった私は、文庫本の『S・Hの冒険』を取り出すと、今度は教科書としてではなく小説として読んだのです。そうしたらこれが何と面白いことか。なぜ今までこの面白さに気が付かなかったのかと、自分でも不思議に思うほどでした。毎日、朝から晩まで読み10日間の休暇中に60編を全部読んでしまったのです。

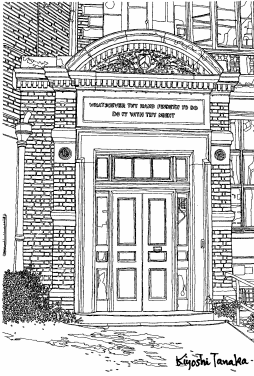
本は強制されて読むものではありませんが、私の場合のように、教科書として仕方なく読んだ本が、後に世界に向けての大きな扉を開いてくれることもあるのですから、子どもたちに本を読む習慣をつけさせることは、私は必要なことだと考えます。

本との素晴らしい出会いは、いつも私たちの周りにあって、本たちは、私たちが気付くのをじっと待っているような気がしてなりません。

### 「ホームズ物語」の魅力

通常、探偵小説というのは犯人が分かっただけで二度は読まないものです。しかし『ホームズ物語』は違いました。私は、その後も、嬉しいとき、悲しいとき、何度も読み返すうちに登場人物の一覧表を作ったり、事件に出てくる場所を百科事典で調べたりと、シャーロッキアンの存在も知らないうちからシャーロッキアンの真似事をしていたのです。

じつは、このことが「ホームズ物語」の魅力とも密接な関係があるのです。「ホームズ物語」の魅力は何かと問われたら、私は、ストーリーの面白さはもちろんのこと、登場人物が実に生き生きと描かれていることだと答えます。60編の事件には、名もなき村の娘からボヘミア国の国王まで、じつに1,063人の各階層の人々が登場します。これらヴィクトリア朝の大英帝国に生きた人々が、事件の依頼人になったり犯人になったり、被害者になったりして登場するのです。そして、次から次へ起こる難事件を、ホームズが持ち前の推理力と行動力で、快刀乱麻を断つごとく解決していくのですから、これが面白くな



いはずがありません。登場人物と同様、事件の舞台になったヴィクトリア朝英国の社会の様子が、庶民の目線で描かれていることも大きな魅力といえます。

ホームズとワトスンが出会った  
聖バーソロミュー病院(ロンドン)  
え・田中喜芳氏

## ヴィクトリア朝の光と影

関東学院大学文学部で「欧米の文化と社会」という講座を担当していますが、私は難しい専門書を使うよりは「ホームズ物語」の記述を通じて、学生たちにヴィクトリア朝を知ってもらおうと考えました。今日、「ヴィクトリア朝の大英帝国」というと、華やかなイメージが先行します。しかし、一口に「ヴィクトリア朝」といっても、1837年から1901年までの長い期間をさすのですから、前期と中期、中期と後期では文化や社会の様子がずいぶん違います。

ホームズとワトスンが活躍したのは、1880年代から1903年頃までの話ですから、ちょうど、ヴィクトリア朝後期の4分の1世紀にあたります。この頃になると「太陽の没することがない大英帝国」は、最盛期から少し下り坂になり、社会のあちこちに「ひずみ」というか「影」があらわれ始めた頃でした。

ワトスは『緋色の習作』で「大英帝国のすべての無為徒食のやからが押し流されていく、巨大な汚水溜めロンドン」と書いていますが、あの陰惨な「切り裂きジャック」事件(1888年)などは、まさにヴィクトリア朝の影の部分を象徴した事件ではなかったかと思います。『唇の捻れた男』事件などに、これら影の部分もしっかりと描かれています。

## コナン・ドイルの深層心理

作者のコナン・ドイルは1859年5月22日にスコットランドのエジンバラで生まれ、1930年7月7日にウィンドルサムの実家で71歳で亡くなりました。ドイルがシリーズ最初の作品『緋色の習作』を書いたのが1886年、彼が27歳のときで、最後のホームズ作品となる『シロスコム・オールド・プレイス』を書いたのが、亡くなる3年前の1927年、ドイル67歳のことでしたから、彼は71年の生涯のうち、実に40年近くにわたってホームズ・シリーズを書き続けたこととなります。このように長期間に書かれた作品の中には、彼の、そのときどきの深層

心理が表れているものもあります。『花婿失踪事件』には母親のメアリーに対する憎しみが、また、『バスカヴィル家の犬』には、妻ルイーズに対するドイルの本音が、無意識のうちに筆がすべて表れたという具合です。「ホームズ物語」に表れたドイルの深層心理の研究は、これからも進むことでしょう。

## 1冊の本との出会いが開いた世界への窓

私ごとで恐縮ですが、最後に、私と「ホームズ物語」との係わりあいをご披露して終わりたいと思います。高校2年で「ホームズ物語」に出会い興味を持った私は、19世紀のロンドンという都市を研究したくて大学は理工学部へ、卒業後、作品をどうしても原文で読みたくて文学部へ再入学しました。この目的を果たすと、今度は、このような作品を書いたドイルの深層心理が知りたくて、米国大学院の修士・博士課程で人間行動学を研究しました。

「病跡学的視点を中心としたコナン・ドイルの性格分析」というのが、私の博士論文です。ドイル研究で博士号を取得したのは、恐らく、世界で私だけではないかと思っています。このように、これまでの人生で多くの時間をホームズ研究に費やしました。しかし、それが世界各地の人々と素晴らしい出会いも経験させてくれたのです。たかが探偵小説と言われるかも知れませんが、一つの作品を徹底的に読み込めば、そこからいろいろなものが見えてきます。ぜひ、皆さんにも本との素晴らしい出会いを経験していただきたいと思います。ご清聴を感謝します。

## 【講師紹介】

田中 喜芳 (たなか きよし)

シャーロック・ホームズ/コナン・ドイル研究家。米国・ニューポート国際大学大学院客員教授。人間行動学博士(Ph.D.)。関東学院大学文学部講師。早稲田大学エクステンションセンター講師。日本推理作家協会会員。鎌倉ペンクラブ幹事。

1987年、世界で最も権威あるホームズ研究団体ベーカー・ストリート・イレギュラーズ(BSI、米国)に、2人目の日本人会員として入会を認められる。

現在、日本シャーロック・ホームズ・クラブ(JSHC)、ロンドン・ホームズ会(英国)など、各国34の団体に会員・名誉会員として在籍する。世界的権威として日本を代表するシャーロックアンの一入である。

主な著書に『シャーロック・ホームズは生きている』(NOVA出版)、『シャーロックアンズの優雅な週末』(中央公論社)、主な翻訳書に『スターク・マンローからの手紙』(河出書房新社)ほか多数がある。

イラストも国内外の単行本、雑誌に数多く掲載され高い評価を得ている。

## 16 ミリ映写機の操作講習会を開催します

鎌倉視聴覚協会との共催で16ミリ映写機の操作技術認定講習会を開催します。対象は市内在住・通勤・通学の20歳以上の人。教材費500円と筆記用具が必要です。募集人数は20人で先着順です。なお、すでに認定証を取得されている方の操作練習としての再受講も可能です。(この場合は前回のテキストを持参すれば無料です)

- \* とき 平成**19**年**2**月**17**日(土)**9:30~17:00**
- \* 会場 中央図書館 3階 多目的室
- \* 申込 2月1日以降、往復はがきに住所・氏名・生年月日・電話番号(通勤・通学の方は鎌倉市内の通勤先もしくは通学先も)をご記入の上、中央図書館視聴覚ライブラリーへ。  
※「広報かまくら」平成19年2月1日号でもご案内します。



## 「図書リサイクル」の方法が変わります

### ◎ 年1回の「図書リサイクル」は終了します。

- 図書館では、平成9年の第1回から今年度まで、毎年1回「図書リサイクル」を開催してまいりました。多くの方にご利用いただきましたが、リサイクル資料を、1年間保管しておくスペースの確保が難しいことや、大量に残る資料の処分費用がかかるなどの問題点がありました。また、利用者の方からは、「年1回の開催では、日程の都合がつかないときがあるので、別の方法を検討してほしい」「深沢だけでなく他の図書館でもやってほしい」などのご要望が数多くありました。
- そこで、「図書リサイクル」の開催方法について検討してまいりました結果、来年度からは下記の方法で行うことにしました。

### ◎ 来年度からは新しい方法で「図書リサイクル」をおこないます。

- 来年度からは、市内の各図書館で「図書リサイクル」を実施します。
- その方法は、各図書館の施設の事情により、次の2通りのどちらかになります。
  - \* 定期的な図書リサイクル
  - \* 館内常設による図書リサイクル
- 詳しい実施方法は、「広報かまくら」でお知らせします。また各図書館で「図書リサイクルのお知らせ」を掲示します。



### お詫びと訂正

「かまくら図書館だよりNo.93」の2ページに紹介した本(「御書物同心日記」講談社)の著者名をまちがえて掲載しました。お詫びして訂正いたします。

① 誤 山久根達郎 → ② 正 出久根達郎

編集・発行 鎌倉市中央図書館 〒248-0012 鎌倉市御成町20-35 ☎ 0467 (25) 2611

鎌倉市の図書館：腰越図書館☎(33)0711 深沢図書館☎(48)0022  
大船図書館☎(45)7710 玉縄図書館☎(44)2218